

# 丸山工業(株)環境行動計画

平成20年6月20日

## 取組方針

丸山工業株式会社は、民間及び官公庁の顧客から受注する交通安全施設工事(ガードレール、道路標識、区画線、グルーピング)、安全防護柵工事(防風、防砂、一般フェンス、落石防止柵等)、一般土木の施工及び施行管理を行っています。

社会を守るため、自分を守る為には、まず出来る事から始めようの合言葉で、一人一人の理解と認識を図り地球環境に貢献して行く事を目指します。  
この為、私たちは事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組みを社員一丸となり推進します。

- ① 省エネルギーにより、地球温暖化に努めます。
- ② 廃棄物の削減とリサイクルを進めます。
- ③ 資源の有効な利用を図ります。

この方針にそって、各従業員が環境意識及び常識をもち、環境に配慮した行動ができるように、教育を実施し、又、地域での環境保全活動に積極的に参加できるように、当社での制度を整備します。

平成20年6月20日

丸山工業株式会社  
代表取締役 丸山 清

## 取組2 廃棄物の適正管理と排出量の削減

### (産業廃棄物)

- ・廃棄物の置き場を整備する。
- ・廃棄物管理票(マニフェスト)の管理を徹底する。
- ・スクラップ品や、リサイクル品は、把握し産業廃棄物業者に委託する。
- ・ウエスになるものは、破棄しない。

### (一般廃棄物)

- ・ごみの分別を徹底し、リサイクルに努める。
- ・排出する廃棄物の重さを計り、記録する。

## 取組3 コピー用紙使用量の削減

- ・両面印刷及び両面コピーの徹底。
- ・使用済みの用紙の裏面を使用する。

## 取組4 資源の徹底

- ・ダンボールは、なるべく資源ごみに出す。
- ・アルミ缶、ペットボトルは、各自洗って保管場所に置く。

## 5 実施体制

担当者と総務部が中心となり、取組目標の実地状況をチェックすると共に全社員の環境意識を向上させ、全員が協力し合って環境保全活動を推進して行きます。

### 3. 環境負荷の低減目標

20年から21年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。  
(基準年度は18年度です)

目標1 二酸化炭素の総排出量を15%削減する。

基準年の総排出量	目標年の総排出量
128,131.3(Kg-CO <sub>2</sub> )	108,911.6(Kg-CO <sub>2</sub> )

目標2 産業廃棄物の排出量を10%削減する。

基準年の総排出量	目標年の総排出量
2.2(t)	1.98(t)

目標3 コピー用紙の使用量を10%削減する。

基準年の使用量	目標年の使用量
128.5(Kg)	115.6(Kg)

目標4 ダンボール、チラシ、カタログ等、ペットボトルなどの資源ごみへの徹底する。

### 4. 環境保全に向けた具体的な取組

取組1 二酸化炭素排出量の削減

(総務部、営業部、工事部での取組)

- ・事務所の空調温度を適正(冷房28度、暖房21度)に設定する。
- ・事務所の温度が下がったり、上がったりの場合適正温度になるまで消す。
- ・営業時間内、誰もいない場合消灯を徹底する。
- ・社用車の効率的な使用(運転経路、相乗り)を徹底する。
- ・アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける。
- ・車の空調温度を適正温度に設定する。

(工事部門での取組)

- ・昼休みと休憩時間には、使用していない機械の電源や車のエンジンを切る。
- ・コンプレッサーのエア漏れを定期的に点検する。
- ・効率の良い工事車の使用。